

1. 人が輝く地域社会の形成について

【北海道型地域構造の保持・形成】

- 交通ネットワークの強化という点では、道路網だけではなく、鉄道網も含めて重層的に整備していかなければ、人も物も動かない。
- 地方都市の市街地や生産空間のあり方というのは、学校のあり方にも似ている。全ての高校を残していくことは難しく、地域ごとに特色があり、その地域を生かす人づくりに取り組む学校を残していくことを総合的に考えたほうが良いと考えている。
- 中間整理は、札幌圏を中心とした取りまとめになっている気がする。北海道をブロックに分けて、各ブロックがどのように発展していくのか考える必要がある。

【北海道の価値創造力の強化】

(人々を引きつける多様な場の創出)

- この10年間で色々なことが変わる。農業や自然の特色を取り入れた教育等に取り組む高校が増えており、農業女子、都市を目指さない若者、一度外に出ても地元に戻ってまちづくりに参画したいと考える若者等が今後増えてくるものとする。地域の核である農業技術等の温存を図り、ライフスタイルの変化にも対応できる地域づくりが必要。
- 自然災害のリスクが大きくなっている昨今、北海道は安全性が高く、住みやすい、子育てがしやすいといったことをアピールすることが重要。
- 仕事とボランティアの両立を続けることは困難。無償のボランティアだけではなく、事業化が可能なものはビジネスとして取り組むという視点は重要。

(道内外・海外との連携強化)

- 子ども達は、地域から首都圏や世界など一度外に出て、グローバルな視点を身につけてきてほしいと思う。そして、その子供たちが地域に戻りたいと思ってもらえるような地域づくりを行うことが重要。

(地域づくり人材の発掘・育成)

- 誰が主体となって「北海道学」を進めていくのかが見えない。札幌圏への集中ではなく、各地域に人材が根差すことにつながるように「北海道学」を展開してほしい。
- ふるさとを子ども達に意識として学ばせることにより、自分が愛されているという自覚が生まれ、どこへ行ってもこの町に帰ってこようという意識に結びつくと考えられる。
- 町内会は、子供たちが色々な社会教育を受ける場として機能してきたが、最近では、町内会の加入率が低くなってきている。これは、インターネットの発達等により新たなコミュニティが生まれ、必要性が少なくなってきたためと考える。子供たちが社会人との関わり合いを持つキャリア教育の場が必要になってきている。
- 北海道は、農業・漁業の担い手を育成する施設が十分ではない。北海道が食料基地として生きていくためには、農業経営者を育てる教育の場、全国から人材を集めるための教育の場が必要。
- 地域に根差した農業や漁業、工業に関することが、地域と行政・民間が一体となるプロジ

ェクトへとつながり、活動できる仕組みができれば良い。

- 北海道総合開発計画を推進する中で、学校では具体的にどのようなことに取り組んでいるか等を吸い上げてもらい、何か行動するときには巻き込んでもらえるとう有難い。

【北方領土隣接地域の安定振興】

- 北方領土は、根室だけで考えるのではなく、釧路も併せて、東北海道全体として捉えるべき。北方領土が返還されたときには、根室は疲弊し切っている可能性がある。

2. 世界に目を向けた産業の振興について

【農林水産業・食関連産業の振興】

(「食」の高付加価値化)

- 農業については、大規模化を図るのか、そこでしか作れないものに取り組むのか、両極にシフトしている。北海道としてどのように展開するのか具体化を図ることが必要。

【世界水準の観光地の形成】

(世界に通用する魅力ある観光地域づくり、観光旅行消費の一層の拡大)

- 観光については、持てる資源の活用を単独の市町村だけではなく、広域的なエリアとしてアピールする必要がある。

【地域の強みを活かした産業の育成】

(地域性・文化性を活かしたブランド力の向上)

- 北海道がグローバル化していくに当たり、北海道の良さをどこに絞り、優位性がどこにあるのか、また、その優位性を必要としている国はどこなのか等対象を明確にすることが重要。また、小規模事業者は「情報弱者」が多いことから、そのような業者も世界と勝負するために必要な情報を知り得る仕組みづくりが必要。

3. 強靱で持続可能な国土の形成について

【安全・安心な社会基盤の形成】

(非常時における食料の安定供給の確保)

- 釧路港は国際バルク戦略港湾として整備が進んでいるが、港湾だけではなく、内陸の生産圏とをつなぐJRも含めた交通ネットワークが網の目に張り巡らされてこそ、戦略が生きてくる。また、食料安保の観点から、北海道だけではなく本州も含めた日本全国の問題として交通網の整備を考えてほしい。

(人材育成)

- 防災意識を高めるためには、小さい頃からの防災教育が重要である。

4. 計画に関するその他のご意見

- 行政が作成する資料は堅い表現が多いので、このような会議に色々な団体の代表が参加することにより、広く国民・道民に噛み砕いて伝えられ、その役割を担っていると感じる。